

別紙 1

令和 7 年度 自己評価・園関係者評価結果シート

きららこども園

1、園の教育・保育目標

教育・保育理念 自分を信じられる子に
 保育目標、園テーマ「Home ～つねに～」
 大きな家族・生活力・マリアの実現
 人との関わりの中で、自然環境や地域の文化を
 大切にし、家庭と力を合わせて自分を信じられる子育てる

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標及び計画

生活力。1階と2階と大きく移動し、1階は乳児、2階は幼児
 の生活の場とす。1階に生活の流れをつくること
 により自身が見通しを持ち生活をつくりだすことが
 できる子になること大切にしたい。

3、評価項目の達成及び取り組み状況と評価

○教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育目標について	①教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				自分では自分でできる子にする。 その具現化に向けて、 時間がかかっても 自分であること大切に したい。
	②目標は、園や地域の特色を生かしているか。		○			
	③目標は、社会の要請や保護者の要望を反映しているか。		○			

	④目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				スタッフ会議等で話し合い を続けている
項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育について	①指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			
	②環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか	○				こどもに主体的にやうと できる環境構成
	③素材・用具を適切に活用しているか		○			
	④評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか。	○				
日時程	①1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			こども自身も 見通しをもって生活している
行事について	①行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事は再度検討して 大々である
	②行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	③計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			行事後の
	④保護者の願いや意見を取入れているか。		○			アンケートや 役員会等で話している

○教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	①能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			スタッフ会議・ミーティング あそびの会行事 時間とこし 66(あはれ)
		②職員の配置は適材・適所か。		○			
		③係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	①各種会議を適切且つ効率的に進めているか。	○				大きな声として 全園児の心と まなこを育む
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年齢別・クラス経営	①年齢別クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				戸外遊びは、全園児 で通している
		②年齢別クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		③同年齢及び異年齢児間の効率的な活動の充実を図っているか。	○				
		④評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	①年齢別クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			家庭にいる まなこを育む 指導
		②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		③健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	情報について	①乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			
		②公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	○				
	施設・設備	①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				まなこを育む 指導
		②遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
		③不審者に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
		④掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか。		○			
出納経理		①保護者会会計を適正且つ適切に処理しているか。	○				

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	①他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。		○			秋田町 「あいのけい橋」 プロジェクトにより 知得小の連携の 機会とつてわい 増える。
		②山間や授業・保育等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		③日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	①参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日を設定しているか。	○				
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		③乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	①地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				11月～12月の肉催
		②「子育てについて」など、保護者を対象として学習の機会を設定しているか。		○			町学にむけた勉強会
		③職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。	○				
		④医療機関、児度相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			連携とつている 多岐にわたる について。
	情報の発信	①こども園だより、クラス通信、HP等で施設の情報を発信しているか。	○				近頃新聞の発行
		②行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	①第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				
		②地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

4、自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
良好である	園の教育・保育理念及び目標に向けて、スタッフ一同話し合いを重ね、協力し、目の前のことに打ちこむことでのベストを尽くす前に進んでいる。 又、保護者の皆様の理解と温かい支援も大きな力となり、大きな家族として接していることが感謝でき、これからもこども一人一人が主体的に生き生きと生活する場であるよう進めている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
生活する力	ロッカーの整理整頓、持ち物等、こども自身で自分の力を取りこめるよう、環境を見直していく。
食育	生活の中に食育が常にとりこまれているように、キチンと行い、スタッフと共にこどもと共に進めていく。
遊びの継続	目的意識を持ち、一人一人が遊びに取りこめるよう、又、新しい遊びが見つかると、見守りつつ行う。

6、学校関係者評価の意見

園の理念である「大きな家族」は、日々の保育で感じられ、乳児から幼児環境が同じ園庭で過ごせる様子は、自然な助け合いや思いやりが育まれているように思います。 中でも年長児が食事の配膳、園庭の清掃など、自分たちで園の生活を支えている姿を見ると、自主心や責任感が培われていると感ぜられます。 また、職員の方々が日々の子ども達の様子を丁寧に保護者に伝え下げるため、園での様子もよく分かり、何かあった時には相談しようと思える信頼関係が築かれているように感じています。		
令和8年 2月 5日	記入者 役職・氏名	きららこども園 保護者会 会長 山下 初江